

2025年2月、「あいち次世代モビリティ・テストラボ」サービス開始 車載用バッテリーおよびEV・自動化モジュールの試験需要に対応

「あいち次世代モビリティ・テストラボ」として、2025年2月愛知県常滑市に開設した「あいちバッテリー安全認証センター」と、4月に機能を拡張した「豊田試験所」をご紹介します。

試験需要が高まるモビリティ業界

モビリティ業界では車載用バッテリーの大型化・大容量化や自動運転技術の開発が進むなか、車載用バッテリーの安全性やEV・自動化モジュールの信頼性確保に向けた試験需要が高まっています。この需要にお応えするため、あいちバッテリー安全認証センターを開設しました。2月12日の開所式では、自動車関連メーカーを中心とするお客さまや報道関係者など約100名の方々に最新の試験設備を見学いただきました。また、4月には豊田試験所の機能を拡張し、中日本エリアにおける受託試験サービスを拡充しました。

次世代モビリティの技術革新・実用化に貢献

あいちバッテリー安全認証センターでは、大型化・大容量化が進むバッテリーの安全性試験に対応し、EVの心臓部とも言えるバッテリーの性能・品質を支えます。豊田試験所では、動作状態のEV・自動化モジュールを使用環境で評価・計測するサービスを強化し、EV・自動運転技術の課題解決に貢献します。これらのサービスにより次世代モビリティの試験需要に全方位でお応えします。環境試験器の世界トップメーカーとして最新の試験設備と高い試験技術・知見を活かし、次世代モビリティの技術革新と実用化に貢献してまいります。

あいちバッテリー安全認証センター開所式



来賓代表 愛知県の犬村知事よりご祝辞



センターの特長や試験技術を紹介



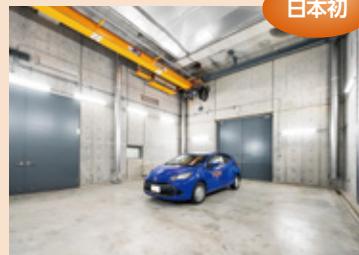
最新試験設備を見学

■ 国内最大級の車載用バッテリー専門試験所 [あいちバッテリー安全認証センター]

最新の試験設備を備え、大型化・大容量化が進む最先端バッテリーの安全性試験に対応する国内最大級の車載用バッテリー専門試験所です。2015年設立の「とちぎバッテリー安全認証センター」(栃木県宇都宮市)で培った試験技術と知見により、国連規則ECE-R100に対応した安全性試験・認証のワンストップサービスや各種試験規格に対応した受託試験サービスを提供します。コンクリート構造の大型安全試験室を3室(10m×8m 1室、6m×5m 2室)設置。さらに、自動車が1台入る恒温恒湿室(6m×4m)や減圧試験装置(2.8m×1.8m)、冷熱衝撃装置(2.8m×2.1m)など大型試験設備をそろえています。また、安全に試験が行えるよう万全の消火・排気・排水システムを完備しています。



あいちバッテリー安全認証センター



日本初

コンクリート構造の安全試験室を3室設置



日本初

国連規則のガスバーナー仕様の耐火性試験設備

■ 多岐にわたる車載用電装品の試験に対応 [豊田試験所]

豊田試験所は約200台の装置を備える当社最大の総合試験所であり、ISOやIEC、中国GB規格、ドイツ自動車業界規格LV124など多様な試験規格に対応しています。この度、e-Axle・PCU・ECUなど大型化するEV・自動化モジュールを動作させた状態での使用環境を再現し評価・計測するサービスを新たに開始しました。また、日本で初めて大型モジュールの水環境下を想定した水没試験装置を設置しています。



豊田試験所